

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

事業所名：調布市子ども発達センター通園事業あゆみ

公表：令和5年1月30日

回答数：14

	チェック項目	はい いいえ			どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
		はい	いいえ				
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2	5	<ul style="list-style-type: none"> 療育室4部屋,ホール,個別室2部屋,前庭を活動目的に合わせて使用しています。活動目的や人数にあった部屋割りを子どもの状況に合わせて実施しています。 活動部屋を調整して,クラスを2グループに分けて活動することもあります。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育だけでなく,医療的ケアを行ったり面談をすることもあると部屋の調整が困難な場合もあります。発達センター内や法人の施設とのスペース共有も検討したいと思います。 ホールを仕切ることができるとさらに有効に使えると考えます。スペースの使用法の工夫を考えていきます。 	
	2 職員の配置数は適切であるか	6	3	5	<ul style="list-style-type: none"> クラスごとだけでなく全体で調整して,職員の配置をしています。 基準以上の人数を配置しております。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別的配慮の必要な児童もいるため,職員が手厚くつく時間もあります。クラスに職員が多く入るほど全体を見ることがおろそかになってしまうこともあるので,職員間の連携に努めたいと思います。 療育以外の仕事を考えると,職員不足を感じることもあります。年々,配慮すべきことが増えている現状もあります。また,職員の休憩時間帯のシフト調整が課題ですので,工夫してまいります。 	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> スケジュール表や絵カード等の視覚支援を取り入れ子ども達に伝わりやすい工夫を行っています。 掲示物をできるだけ減らし,水道のある場所の扉も都度閉めて刺激を少なくしています。 		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	10	1	3	<ul style="list-style-type: none"> 毎日,療育後に清掃・消毒を行っています。 活動内容により物や人の配置等の環境設定を工夫しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 療育中に使うものを廊下に置いたままにしてしまうことがありますので,収納スペースの整理などを行い,廊下の環境改善に努めます。 	

業務改善	5	業務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	12	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・療育後に日々の振り返りの時間を設けています。クラスでのフィードバックの他、正規職員で夕方に報告会を実施し、出た課題について会議で検討をしています。 ・情報共有の方法は常に改善しながら取り組んでいると思います。 	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年の事業所評価、父母会独自のアンケート等、第三者評価のアンケートでご意見ご要望をお聞きしています。参考にして、業務内容の改善につなげております。 	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	13	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年事業所評価を実施し、ホームページで公開しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公開場所がわかりづらいので、改善いたします。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に受審いたしました。 3年に1度予定しています。 	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・インリアル研修等、業務をする上で“ため”になっています。 ・月1回程度、短縮療育の日を設け、研修の時間を設けています。 	
	適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートを活用し、児童発達支援計画を作成しております。作成にあたっては保護者面談を実施しています。

11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	11	0	3	・アセスメントシートを用いています。	・アセスメントシートが標準化されているか、上手く活用されているかは課題であるので、使用しながら見直しを図っていただきたいと思います。
12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	11	0	3		・相談担当が作成する「サービス等利用計画」には家族支援・地域支援の内容が盛り込まれており、連携を図っていますが、児童発達支援計画の変更については、意見を集約し検討したいと思います。
13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	14	0	0	・計画を元にフィードバックすることが定着して、目標を意識しやすくなったと思います。	
14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	12	0	2	・専門職、クラスの職員とも意見を交わしながら検討しています。	・正規職員が立案することが多いので、臨時職員の方にも意見やアイデアをもらって一緒に考える機会を設けてまいります。
15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	13	0	1	・週の中でさまざまな遊びができるように調整しています。 ・散歩や水遊び、季節を感じられる行事を取り入れています。	・子どもたちの状況に合わせて、活動内容や、方法を工夫してまいります。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	14	0	0	・クラスの集団での課題療育と、専門職が入った個別療育を組み合わせ、児童発達支援計画を作成しています。	
17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	14	0	0	・子どもが登園する前のミーティングで確認しています。	・出勤時間の都合やバス添乗になった場合はミーティングに参加できない場合もあるので、日々の療育後のクラスの時間も活かして情報共有してまいります。

	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	14	0	0	・毎日、クラスごとに振り返りを行っている他、夕方に正規職員で全クラスの状況について情報共有しています。 業務日誌に記録して、全職員が見られる形にしています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	14	0	0	・支援に関する記録をとり、月のクラス会などで見直し、検証をしています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しその必要性を判断しているか	14	0	0	・半年に1回計画の見直しを行っています。	
関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	5	・計画相談担当者との聞き取りや情報のやり取りは適時行っています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	14	0	0	・子ども家庭支援センターや、健康推進課など関係機関との連携を行っています。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	0	0	・相談担当、主治医、指導医との連絡体制を整え、必要と判断した場合には受診に同行する等、可能な限り連携を図っています。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	14	0	0		

25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚園）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	0	0	・「支援のまとめ」という書類を作成しています。次集団へ直接出向いたり、電話での引継ぎを行っています。	
26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	13	0	1	・「就学支援シート」を作成しています。近年コロナ禍ということもあり、電話での引継ぎが行われています。	
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	10	2	2	・今年度はオンライン研修にて、他施設の紹介を受講し、様子を知ることができました。	・今後も、他施設のことを知る機会を設けてまいりたいと思います。
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	14	0	0	・過去2年、コロナの状況があり中止しておりましたが、今年度は5歳児が交流保育を実施しております。 ・近隣の公園に散歩に出向くことで、他の保育園や幼稚園の子どもと場を共有することがあります。	
29	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	9	1	4	・調布市障害者地域自立支援協議会には子ども部会がなく、参加の機会が殆どありません。地域的な広がりや課題だと認識しています。	
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	14	0	0	・連絡ノートや電話、面談等で現状や課題について共有しています。	

	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	9	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の相談について個別にアドバイスを行っています。 ・専門職が開催する保護者向け勉強会があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な支援方法については検討が必要です。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・入園契約時や保護者会等で説明しております。 	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとの児童発達支援計画作成・モニタリング面談の際に保護者に支援内容の説明を行い、同意を頂いています。保護者の意向も確認しながら、児童発達支援計画の作成を行っています。 	
	34	定期的に、保護者から子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談の他に、保護者のニーズや子どもの状況等により、電話や面談等で、相談や助言を行っています。 	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等開催する等により保護者同士の連携を支援しているか	14	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・方法を工夫して保護者会や懇談会を継続し、できる限り保護者同士の繋がりが持てるよう支援しています。 ・親睦会など保護者が集まる機会の提供（部屋の貸し出し、会の内容などの助言）を行っています。 	

	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14	0	0	・連絡帳等で相談や要望があった場合には、お電話等で詳細を伺い、迅速に対応できるよう心がけています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	14	0	0	・毎月の園便りでクラスの様子を伝えています。また、保健だより、給食だよりを発行しています。 ・給食の写真をホームページに公開しています。	
	38	個人情報の取り扱いに十分注意しているか	14	0	0	・個人情報保護規程を設けたり、リスクマネジメント委員会等を通じて注意をしています。	
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	14	0	0	・個人に合わせた方法を検討し実施しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	8	2	4	・発達センター主催の、オープンデーを今年度開催しました。 ・コロナ禍以前は、近隣保育園の子どもたちを行事に招いておりました。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	14	0	0	・毎月、発達センターと合同で避難訓練を実施しています。保護者対象に非常時の対応について案内し「災害伝言ダイヤル」の訓練も行っています。 ・非常災害に備え、災害備蓄品や非常用電源を準備しています。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	14	0	0	・アレルギーのシミュレーション研修も実施しています。	

43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	14	0	0	・利用開始時に健康調査票に記入してもらい、発作や服薬、予防接種等について聞き取りをして把握をしています。	
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	14	0	0	・生活管理指導表を提出してもらい、医師の指示に基づき対応を決めて周知しています。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	14	0	0	・ヒヤリハットが起きた場合は必ず報告書を作成し、ヒヤリハットの内容を全職員に周知しています。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	14	0	0	・事業所内や法人で虐待防止研修を実施しています。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得たうえで、児童発達支援計画に記載しているか	13	0	1	・バス内の安全を保つために必要なことなどあった場合は保護者に説明し、個別記録に記録しています。	・児童発達支援計画への記載については保護者と話し合いのうえ行いますが、身体拘束が常態化しないような対応を検討してまいります。